

亜硝酸リチウム配合ポリマーセメント系鉄筋防錆材

NC 防錆ペースト

- NEXCO 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」適合品
- 日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針（案）・同解説 付 1.3 「鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準（案）」適合品

【標準施工要領書】

2022 年 12 月 14 日



二瀬窯業株式会社

1. 調合

NC 防錆ペースト		練り上がり量	標準塗布量
主材 (セメント系粉体)	5 kg	3.8 L/kg	1.85 kg/m ² (1 mm厚)
混和液 A (アクリル酸エステル共重合体)	1.3 kg		
混和液 B (亜硝酸リチウム水溶液)	0.2 kg		
清水	0.4～0.6 kg		

混和液 A は、混練前によく振ってから使用してください。

2. 施工方法

2-1. 下地処理

- ・ コンクリートの脆弱部分や硬化不良部や浮き、劣化部位や油分は除去し、健全な下地を露出させてください。
- ・ 鉄筋表面の錆は、サンドブラストやワイヤーブラシ等を用いてサビ落としを確実に行ってください。錆落とし後の鉄筋は、発錆しやすい状況にあるため、おおむね 2 時間以内に NC 防錆ペーストを塗布してください。

※ 浮きや剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行なってください。

2-2. 材料の混練

- ・ 混和液 A、混和液 B と水道水を予め練り容器でモルタル用かくはん機等で軽く混ぜ合わせておき、その後、攪拌しながら主材を投入し、2～3 分間練りダマがでないように混練してください。

※ 強度低下等の恐れがありますので、主材と混和液 A と混和液 B と水道水の調合割合は厳守してください。

※ 混練後は、夏期 30 分 冬期 60 分以内に使い切るようにし、練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

2-3. 塗り付け

- ・ 鉄筋が十分に乾燥してから、刷毛等を使用し 1 mm 厚で鉄筋全周に塗布してください。その際、鉄筋のリブが隠れないようにしてください。(標準塗布量：1.85 kg/m²)

2-4. 養生

- ・ 通風や直射日光を避け、必要に応じてシート掛け等の養生を行ってください。
- ・ 初期の雨掛かり等は、強度不足や白華の恐れがありますので、シート掛け等の養生を行ってください。

- ・ NC防錆ペースト塗布後、指触硬化を確認後、断面修復材の施工を行って下さい。

参考文献

- 1) NEXCO構造物施工管理要領 3 保全編 3-5 断面修復 3-5-6 施工 1) 腐食鉄筋処理

3. 注 意 事 項

- ・ 気温が5℃以下及び5℃以下になりそうな時、または35℃以上及び35℃以上になりそうな時は原則として施工を行わないでください。
- ・ 直射日光や降雨などに十分注意し、養生は確実に行ってください。必要ならばシート養生などを行ってください。
- ・ 固まったものの使用は避けてください。
- ・ NC防錆ペーストには、混和液A、混和液B、水道水のほか、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- ・ NC防錆ペーストの保管は、直射日光、湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。
- ・ 材料の品質保持期間は製造後6ヶ月です。